



どうする



防災

2024年1月号
和合町自主防災隊

今月の「どうする」は、

「大規模災害が起こった時、誰に助けてもらいますか？」

問1. ケガをした時、どうしますか

答え:119番通報をして救急車を呼ぶという答えは、間違いです。



浜松市には救急車は消防局1台、中区4台、東区4台、西区5台、南区4台、北区5台、浜北2台、天竜5台の計30台しかありません。(令和5年4月現在)。大規模災害が起こって、ケガをして、119番通報をしても、救急車はおそらく来ないでしょう。(電話すら通じないかもしれません)

(どうする防災)

ケガの応急処置は、自分たちで行うこととなります。病院に運ぶのも、自分たちでやらなくてはなりません。また、道路の被害状況によっては、車で運べるかどうか分かりません。緊急車両などを優先に通すために道路の規制なども行われます。

問2. 火災が起こった時、どうしますか

答え:119番通報して消防自動車を呼ぶという答えは間違いです。



浜松市にあるポンプ車は全部で40台、はしご車が7台、救助用の工作車が10台です。(令和5年4月現在)。一度にたくさんの箇所で火災が発生した場合、消防自動車は当然足りません。火災が起こっても消防自動車は来てくれるかどうか、分かりません。

(どうする防災)

初期消火を行うために、そこにいる人たちが協力して、バケツリレーをおこなったり、街頭消火器を使っの消火を行うこととなります。また、下敷きなどになった人を救助するのも、自分たちで行わなくてはいけません。

自分たちで大規模災害に対応するためには人の力、人との協力、人とのつながりがとても大切です。普段からご近所さんとの関係性を作っておくことは防災の基本です。

筆耕:防災コーディネーター 松山 美佐